迎春

「町民の皆さまと協働したまちづくり」を目指して

月形町長　上坂　隆一

新年あけましておめでとうございます。

町長として、３期目の新しい年を町民の皆さまとともに迎えることができましたことに感謝申し上げますとともに、輝かしい新春を迎えることを心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対しまして、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和６年は、石川県で震度７の大地震が発生するというショッキングな出来事で始まりました。現在も復旧・復興に向けた支援が行われている中、９月には豪雨による被害が発生し、改めて被害にあわれた皆さまに対し、心からのお見舞いを申し上げますとともに、被災地の皆さまが１日も早く平穏な日常を取り戻せることを願っております。

さて、昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始され２年が経過しましたが、未だ収束への道筋は見えないままであります。その影響により日本国内においては食料品やエネルギーなどの安定供給が脅かされ、資材・物資などの価格高騰が収まらず、町民皆さまの日常の生活に大きな影響を与えているところです。一日も早く終息し、世界に平和が戻ることを望むものであります。

２０１７年の北海道日本ハムファイターズの月形町応援大使であった大谷翔平選手は、ロサンゼルス・ドジャースに移籍し、年間54本塁打、59盗塁という前人未到の記録を達成し、大リーグでの最優秀選手賞を２年連続受賞とアメリカンリーグ・ナショナルリーグの両リーグでの受賞という快挙を達成いたしました。これからも益々の活躍を期待するところです。

本町におきましては、令和５年から行っておりました町民保養センターの改修工事と道の駅の登録が終了し、９月１日には保養センターのリニューアルオープンと道の駅の開業を迎えることができました。９月１日はたくさんの方に来場していただき、９月のひと月では、10万人の方にご来場いただきました。今後も皆楽公園エリアを町の観光拠点として更なる魅力向上を図るため、温泉、宿泊、飲食を充実させるとともに道の駅との相乗効果を図ってまいります。

義務教育学校につきましては、現在実施設計を行っております。併せて義務教育学校開校準備委員会などにより協議を進めているところです。町の限られた財源の中、将来に負担が残らないように、月形の子どもたちの学びの充実と健やかな成長のため、適正な判断のもと取り組んでまいります。

本年３月をもって、月形―岩見沢間の北海道中央バス株式会社によるバス運行が終了します。４月からは、運行する会社が有限会社アオヤナギ観光バスに変更となりますが、町民の皆さまにご不便をおかけすることが無いように対応してまいります。

一昨年度から策定作業を進めてまいりました「第５次総合振興計画」および「第３期創生総合戦略」については、審議会などの協議を終了し、３月に町議会での議決を経て、４月から計画に基づき町の事業を推進してまいります。

本町を取り巻く環境は、町の基幹産業である農業や商工業の振興、担い手の確保など多岐にわたっており、月形町農業協同組合や月形商工会とも連携しながら、月形町の発展および振興に努めてまいります。

町長として３期目を迎え、新たなまちづくりのために撒いた種が芽を出し実をつくり、20年、30年後に月形町に住んでいてよかったと言ってもらえるように、町職員とともに知恵を絞り「誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまち」づくりにしっかりと取り組んでまいります。

結びになりますが、本年が町民の皆さまにとって健康で幸多き一年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

副町長　藤原　栄一
教育長　兼平　晃成

迎春

小さな改善から改革を

月形町議会議長　大釜　登

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、月形町議会を代表いたしまして、心からお慶びを申し上げます。

また、町民の皆さまには、常日頃から議会活動に対しご理解とご協力をいただき、さらに温かいご支援を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

一昨年の統一地方選挙において、定数割れとなった月形町議会ですが、昨年の再選挙で欠員が補充され、9月30日からは本来の8名体制で再スタートを切ったところです。

さて、昨年は、元日に輪島市と志賀町で震度7を観測する能登半島地震が発生、翌日には羽田空港地上衝突事故で日本航空の旅客機と海上保安庁機が炎上し、5人が死亡するという衝撃的かつ痛ましい事故があり、不安な一年の幕開けとなりました。

8月8日に発生した宮城県沖の地震では、気象庁が南海トラフ巨大地震が発生する可能性が平時と比べ高まったとして、注意を呼びかける「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を初めて発表し、地震に対する緊張感が全国で高まりました。

国外では、未だ解決しないロシアのウクライナ侵攻など不安定な世界情勢が日本国民の生活にも大きな影を落としています。

国内の情勢としては、政治資金問題が発端となり、10月27日投開票の衆議院議員総選挙において与党が過半数割れとなる結果を招き、国会の緊張感が高まっています。

最近の身近なニュースとしては、北海道議会が東京都議会に続き全国2例目の「カスタマーハラスメント防止条例」を制定し、注目を集めています。近年、パワハラやセクハラのほかさまざまなハラスメントが社会的に問題となっており、自治体におけるハラスメントの報道もよく見かけます。月形町議会としてはそのような事態が起きないよう町執行部と協力して職場内のハラスメント防止に努めていくため、議員提案の「月形町ハラスメント防止条例」を12月定例会で可決しました。月形町議会議員と月形町職員とは、まちづくりを担っていくパートナーであり、お互いに人権を尊重し合うことが大切であると思います。全体で意識して取り組んでいくことが、これから議員を目指し今後の月形町議会を担っていく方々にとっても、安心して活動できる環境を整える一助になると考えています。

昨年は、月形温泉ゆりかごがリニューアルオープンし、「道の駅275つきがた」として新たなスタートを切りました。オープンから4カ月余りの営業でまだまだ課題はあるかと思いますが、月形町の顔となる施設に育つよう議会としても監視を続けながら、随時提案をしていきたいと考えています。

残念な出来事としては、北海道信用金庫月形支店が撤退したことが挙げられます。町長とともに店舗の継続について本店への要請活動を行いましたが、人員的な問題でやむを得ない状況であるとのことでした。

昨年開催した懇談会では、町内の各団体から数名ずつ出席してもらい貴重なご意見をいただきました。今後はより多くの方のご意見を聞く機会を設けていきたいと思っております。その結果を活かしながら、議会としてできる活動を行っていきたいと考えています。

また、議会の活性化について昨年の先進地視察も参考に、小さくてもできることから改善し、改革につなげていきたいと思います。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとって、健康で喜びと幸せに満ちた実り多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

副議長　我妻　耕
議会運営委員会委員長　松田　順一
まちづくり常任委員会委員長　東出　善幸
議員　金子　廣司
議員　若井　昭二
議員　滝口　伸
議員　西山　富夫